



愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9 - 7
労働会館東館 3 F
T E L 052-871-5433
F A X 052-871-5618
U R L http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽 松 佐 一
第189号 2009年 4 月10日

第80回メーデー
5月1日(金) 9時半～
伏見・白川公園

祝 卒業・入学式のはずなのに… 授業料が払えない



急増 就修学援助

09年度の入学式も終わりました。しかし、いま子どもたちを取り巻く環境は「深刻」です。祝卒業・入学のはずなのに、リストラや解雇などで親の収入がとれた母子家庭で、収入がきわめて低いなどの理由で授業料を払えない子どもたちが急増しています。早急な対策が求められています。

文房具すら買えない生徒が
家計を直撃する授業料・私費負担

3月17日、中日新聞は県立高校の4校で、「学費滞納の生徒に卒業証書を渡さなかった」と報道しました。授業料を滞納している生徒から卒業式後、教室で他の生徒の前で証書を回収したというものです。

いま、親が解雇されたり、非正規化するもどでワーキングプアが増え、授業料を払えない子どもたちが急増しています。授業料の免除を受ける生徒の率は年々増加し、97年

母家庭・母が病気で収入ゼロ／バイト代も家計に
●母子家庭。母は道路警備などパートで働いている。厳しい仕事のため体調を壊した。姉2人がバイトしているが自分たちの授業料も払い、かつ家計を助けている（1年生）。
●看護師として働いていた母が体調を壊し仕事を辞めて生活が苦しくなり、授業料滞納が続いていた。父が働いていたので、減免申請ができなかったが、今度は母ががんで入院。本人はバイトで補おうとしている（1年生）。
●母子家庭。母はドラッグストアでパート。その母が交通事故を起こし130万円以上の修理工費を請求された。本人は文具を購入にも困窮している（2年生）。
●父が10月に死去。母がクリーニング店を営む傍ら祖母を介護してきたが、店をたたまざるを得ず、介護もありすぐ仕事に就けない。本人は進学できないかとショックを受けている。愛高教奨学金の話をしたら、少し明るい顔になった（3年生）。

増える授業料免除者（全国）

年	率
97年	3.5%
98年	4.2%
99年	4.8%
00年	5.5%
01年	6.1%
02年	6.9%
03年	7.8%
04年	10.7%
05年	11.3%
06年	12.2%
07年	13.0%

文部科学省の調査より

愛高教奨学金に申請が殺到

授業料減免制度の拡大を

教育の無償化は世界の流れ
国・県は教育予算を大幅に増やせ

奨学金は有利子化
取り立ては民営化

入学式。子どもたちの希望を押しつぶしてはならない。
＝4月6日、県立高校

高校に入ると授業料（9900円）以外に、修学旅行の積立金やPTA会費など月々25000円近い負担があります。免除があるのは授業料のみで、そのほかは払わなければならない。生徒に大きな負担になっています。

「学校によっては、修学旅行の行き先が中国やマレーシアに。費用は12万円も

給付型奨学金制度が必要



子どもたちに責任はない。今こそ国や県による公的な緊急対策が必要と訴えています。

熊澤知加夫さん
愛高教書記次長

かかります。修学旅行にいけない生徒も出ています」と熊澤さんは語ります。

「私たちは昨年11月に『教育格差解消のホットライン』、12月には教育現場の実態を明らかにするシンポジウムを開催し、教育格差の実態を明らかにしてきました。高校だけでなく、小中学校の子どもたちも深刻な状況にあります」と語るのは副委員長の原田邦彦さん。

愛高教は、給付制の公的奨学金制度、授業料減免制度の拡大、生活資金貸付制度（修学資金）などの創設、教育予算の大幅増をめざし、父母や他の教育団体、幅広い県民とともに取り組みを強めていきます。

日本の教育費の父母負担の重さは、国際的にみても異常です。

「国際人権A規約」第13条の2（b）（c）では「中・高等教育の漸進的な無償化」が謳われています。しかしこれを留保しているのは日本・ルワンダ・マダガスカルの3国のみです。

「私たちは昨年11月に『教育格差解消のホットライン』、12月には教育現場の実態を明らかにするシンポジウムを開催し、教育格差の実態を明らかにしてきました。高校だけでなく、小中学校の子どもたちも深刻な状況にあります」と語るのは副委員長の原田邦彦さん。

忙しい時期だからこそ、季節の花をゆっくりみて歩き、楽しみたい。花見とビールで春をじっくり感じれば、心がやさしい気持ちになる。しかし、そんな気分になれる人がたくさんいるに違いない。▼先月末発表された2月の有効求人倍率は全国で0・59倍。愛知は0・74倍だが、昨年同期は1・88倍だったので、大幅な雇用悪化がみとれる。1人の求職者に対して、0・74件しか求人がない。これにはパートや派遣など非正規社員の求人も含まれているので、正社員の求人倍率は、0・4から0・5倍になる可能性がある。平均して1件の求人に対し2人が応募する▼「景気の底が抜けた」というが、私は毎日の窓口業務を通じて本当にそれを実感している。ハローワークで求人を見る。次に紹介希望求人について、受付に申し出る。窓口では、労働条件や仕事の内容、応募状況を確認し、職業紹介に移るが、受付から窓口で呼ばれるまで、2時間から3時間待ちという状態が続いている。座る席も少ない。この雇用悪化の中で、職員削減も影響が出ている。昼食もともに取らず頑張っているが、限界に近づいている▼景気を良くすること、庁舎の改善・職員の増員。毎日多くの失職者と接し、このことを願わずにはいられない。

（H・スローライフ）

名古屋市長選

4/12告示・4/26投票

市政を変えたい



太田よしひろさんに聞く

●プロフィール●
太田義郎。1944年生まれ。65歳。愛知淑徳大学大学院修了。米穀業。愛知県商工団体連合会会長、あいち9条の会世話人。家族は妻、1男1女。

まちのにぎわいを取り戻し、元気を名古屋へ

だから立候補を決意

―立候補を決意された理由をお聞かせ下さい。
【太田】 中小業者の団体の会長をしていたなかで、くらしやまちの状況を見てきました。商店がなくなり、町工場はつぶれてきています。地域の経済が疲弊し、医療・福祉は後退。老人イ



3月29日、鶴舞公園の宣伝で花見客に囲まれる着ぐるみ青年たちと太田さん

名古屋市長選挙が、4月12日告示、4月26日投票で行われます。愛労連は、革新市政の会に結集して、中小・零細業者団体（愛商連）会長の太田よしひろさんを推薦し、勝利のために奮闘していきます。労働組合が、なぜ名古屋市長選挙をたたかうのか、職場で話し合ってみましょう。

労働組合は、働く者の共通の要求で団結し、資本とたたかう大衆組織で

職場で話あつてみよう！

働くものの要求実現のため 名古屋市長選挙をたたかう

要求も含まれています。これらの要求を実現するためには、社会と政治を変えるたたかいが必要です。

組合などが本山革新市政を誕生させました。愛労連は、組合員の政党支持の自由、政治活動

政党選挙と自治体の首長選などの統一戦線型選挙とは区別しています。政党選挙では、労働者

の自由を政治方針に掲げています。このこととの関わりで選挙闘争については、国政や地方選での政党の支持はしません。名古屋市長選など統一戦線型選挙では、無所属の候補者と要求・政策で一致した労働組合・民主体・政党などが政策協定を結び選挙戦をたたかいます。

今度の市長選挙は、名古屋市政を「働く者・市民本位の市政に転換する」絶好のチャンスです。（克）

くらし、地域を自分たちの手で

回結つて変えていく

―市民のみならずからはどんな声が聞かれますか。
【太田】 将来の不安を言われます。国民年金では生活できない。中小企業の労働者では年金も10数万程度。何かあった時大変だと。子どもや孫の心配もあります。勤め先がいつつぶれるかわからない。正規社員は「うつ病」が増えていると聞きます。追い詰められており、やり場のないうっ積した思いを抱えています。―市政への期待は。

【太田】 2大政党でちっとも良くならない。どうしようもなく絶望的な思いです。しかし、今度の選挙はそうじゃない。みんなで団結して変えていこうという「声」がどこまで響いていくのか。青年、母子家庭や、障がい者など未来が見えないことが大きいです。希望を持てば勝てるということをどう伝えられるか。―労働者へのメッセージをお願いします。

【太田】 自分たちのくらし、地域を自分たちで考えてよくしていくんだという「自治」の精神。自らがたたかうことを通じて民主主義を実現していく、世の中を変えていくことができる。というたたかいをしようという話です。教育・保育・学童など人間の尊厳をつくり、人格形成をしていく場には、資本の理論はなじみません。そういう意味でも保育の民営化は単なる財政問題ではないんです。

「私たちはモノじゃない人間なんだ。人間として尊厳をもつてたたかうよ」というメッセージが少しでも伝わればと思っています。



3月28日、女性のつどいで語る太田さん

安全衛生

人事異動も業務による心的負荷

4月1日には、人事異動で上司が変わったり、自身の昇進・昇格などがあった方もあるでしょう。近年、仕事のストレス（業務による心理的負荷）が原因でうつ病などの精神障害になったとした労災請求が増え、厚生労働省は、「心理的負荷による精神障害等に係る業務上外の判断指針」を策定しました。

最初にあげた事例は「出来事の心理的負荷の強度」が「日常的に経験する心理的負荷で一般的に問題とならない程度」とされ「Ⅰ」ですが、出向・転勤・配置転換、セクハラは「Ⅱ」、退職の強要は「Ⅲ」です。「出来事に伴う変化等の心理的負荷」が「相当程度過重」かつ「Ⅲ」、「特に過重」かつ「Ⅱ」の組み合わせが、精神障害を発病させるおそれのある業務による強い心理的負荷があったと判断されます。



判断を示し、身障者への無理解を正しました。「マツヤデンキ過労死裁判」では、須田民男医師の意見書を提出。3月「ヘルパー打ち切り裁判」の原告、梅尾さんは全盲の視覚障がい者。行政の安易な福祉切り捨て、「官から民へ」の流れを認めず、障がい者の生活実態を踏まえ、名古屋市の責任で職員ヘルパー事業の復活を求めています。

たたかう仲間たち NO.52

裁判所は、身障者への無理解と働かせ方を、正せ！

控訴審をたたかう仲間と裁判所包囲宣伝・要請行動

愛知争議団連絡会 事務局 勅使河原勇

3つの裁判は、名古屋地裁で敗訴したもの、会社や裁判所に向けての共同宣伝を重視してとりくんでいます。立証活動強化で新証人を採用させて口頭弁論、意見書の提出を認めさせる前進をつくってきました。署名活動も広げています。さらに、裁判所に障がい者の雇用や生活、人権を守る姿勢を明確に示すよう、一緒に頑張る勝利判決の獲得をめざしています。

西三河地域で駆け込み相談会開催

6月までに非正規19万人失職、愛知は3万人以上

2日間で128人の相談

3月21・22日、東岡崎・岡ビルで愛知派遣村実行委員会の「反貧困・駆け込み相談会」が行われました。

2日間で128人が相談に訪れ、そのうち53人が生活保護の申請にいくことになりました。

相談から解決までワンストップで
相談者には「つきそいボランティア」がつき、相談者の立場にたって聞き取りを援助、各コーナーを回って解決方法まで決めます。中には1時間〜3時間もかけて相談された方もおり「しっかり話を聞いてもらえた。ほんとに良かった」

また「今日中に派遣寮を追い出される」という日系ブラジル人は5万円もの寮費を払っており、相談員がついて行って「追い出しは借家法違反だ」と交渉することになりました。

2日間で100人以上の相談員、その他のボランティア185名と、たいへん多くの方が駆け込み相談に

関わりました。愛高教や医労連、全印総連、生協労連からのボランティア、地元からも「あったか岡崎市政」の中根ともじさんはじめ多くの方が駆けつけ、会場設営やおにぎり300個差入れなど協力しました。

派遣村活動で行政の対応に変化

西三河の自治体はこの「相談会」を前に、「対策会」を開催。翌日以後の申請にもたいへん協力的でした。厚労省も3月に再度「離職者への対応について

労働者のクビをきるな!!

あきらめず組合に相談を

な規り す正 許非 派遣切り

会場には労働相談と生活保護、住宅の確保や貸付金の手配、さらには多重債務や医療相談がもうけられ、弁護士や司法書士、ケースワーカーなどの他に医師・看護師、精神福祉士などの専門家が相談に応じました。愛労連も労働相談、医療相談に参加しました。



④雇用と生活を守れ3・31集会、⑤3月25日、地裁提訴中の三菱電機門前の宣伝

Topics



3/18

名城大学の卒業式にあわせて、地下鉄「市役所」駅前で宣伝行動。権利手帳を300部配布した。



3/19

年金者組合は「生活危機突破年金引き上げ全国統一行動」として学習決起集会をおこない、100人が参加した。



3/20

第5回パート・臨時労組連絡会総会を開催。非正規のたたかいが大きく広がっていると報告された。



3/31

消費税導入から20年。増税反対のマラソン宣伝を栄・三越前でおこない、5時間で516筆が集まった。

地域メーデー集会と関連行事

- 【県下の地域メーデー】
- 東三河地区メーデー
10:00～ 松葉公園（豊橋市）
 - 尾張東メーデー
9:30～ 宮川モール（瀬戸市）
 - 尾張中部地区メーデー
10:00～ 春見公園（春日井市）
 - 尾北地域メーデー
10:00～ 江南中央公園（江南市）
 - 一宮地方メーデー集会
10:00～ 新柳公園（一宮市）
 - 安城地区メーデー
9:30～ 中心市街地交流広場(安城市)※厚生病院跡地
- 【愛知県中央メーデー関連行事】
- メーデー前夜祭 大うたう会
4月29日(水・祝)18:00～労働会館東館2階ホール
参加費 1,000円(軽食・ソフトドリンク・歌集付き)

青年協ニュース

AIAI

NO.36

最賃額1000円は絶対必要!

青年協・パ臨連・最賃対策委員会で宣伝&ごくろうさん会開催



宣伝終了後は春闘ボウリング大会へ

3月15日、愛労連最賃対策委員会&パ一ト・臨時労組連絡会&青年協議会の3者は、栄・丸栄スカイル前で「最賃を1000円以上に引き上げよう」と宣伝行動。25人が参加しました。

2月の1カ月間、最賃生活体験に参加した仲間全体で100人を超えます。宣伝では青年が中心に、生活がどれだけ

大変だったかなどリートリックをしました。「731円では1カ月で10万円そこそこ。これでは食べにくいのがや」と「風邪をひいても病院に行けない」など切実な体験が次々に語られました。

宣伝終了後、青年協主催の春闘ボウリング大会に参加しました。千早の「プランズウィック・スポート」に9単産から36人が集

今後の最賃引き上げのとりくみは、4月17日に労働局交渉、6月には栄で「731分のハンガーストライキ」をおこなう予定です。



PAC3とは?

高木 徹

09春闘

雇用も賃上げも

輸出大企業の急激な失速による大不況があらゆる産業に広がっています。トヨタが2月から4月に休業日をもうけ、大幅な減産をしたためJMIU、全国一般、きずなの製造職場では「週休3日、4日」「雇用調整助成金の給付を受けている」という職場も少なくありません。

名古屋港では自動車の輸出が半減し「コンテナふ頭はガラガラ」となり、運輸関係でも大きな影響がでています。さらにSONY、宮工場の閉鎖などパナソニック、三菱電機、東芝など



3・15春の大集会で団結ガンパローをする参加者

なくせ貧困！生活危機突破！

不況口実に厳しい回答のなか

非正規要求で数々の成果

電機産業でも縮小・撤退の動きがひろがっています。それでも大企業はため込んだばかりの大利益を還元せず、社会的責任が問われています。

労働相談は2月には240件を越え、その7割が解雇、寮の追い出しもありました。このような情勢のなか、今年の春闘は「なくせ



権利手帳を受け取る労働者

全国一般ではナトコが定昇を確保したものの日本アクリルでは「09年度のみ定昇を凍結する」と協約違反の回答。東京本社ではR&H（アメリカ資本）いいなりで、60才定年に伴う再雇用についても「本人に何も問題がないが許可されなかった」「日本には人事の権限がない」など無責任な対応を続けています。愛知県本ではアクリル対策会議を招集、市場副委員長も参加して団交を続けています。

アクリル分会
協約違反許さない

「貧困！生活危機突破！」を掲げてたたかっています。建交労では要求提出に力をいれ、約8割が提出しました。要求を討議、提出することで団結も経営に対する自覚も高まります。回答の引き出しでは苦戦していますが、有額回答も10組合で引き出しています。

JMIUでは11組織が提出、川本、B&Rで有額回答ですが、他はまだこれからです。

大企業は利益を還元せよ！問われる社会的責任

多彩な行動で反撃

不誠実な対応に各地でストライキ行動



3月12日、金山南口で座りこみをおこない、1047名JR採用差別問題解決をはじめ雇用を守れ、賃金引き上げを訴えた。

3月12日の全国統一行動では通信労組、建交労、鉄道本部、全印総連中部共同印刷労組・織研新聞労組がストライキを行いました。またJMIU川本労組も17日に2時間のストをうちました。

大企業の前で派遣切り抗議宣伝
大企業の違法な「派遣切り」が問題になるなか、12日にはSONY稲沢工

「権利」を知ろう

伏見で新入社員向け宣伝

4月1日、伏見駅で新入社員向けの組織拡大宣伝をおこないました。宣伝カーから「就職おめでとうございませう。就職したら労働契約の内容を確認しましょう」「手帳を保存しておいて、何かあったら相談を」と訴えると多くの方が権利

今後の主な日程

- メーデー前夜祭
4月29日（水）18:00～
労働会館東館ホール
- 憲法62周年記念市民のつどい
5月3日（日）13:00～
名古屋市公会堂
- 自治体キャラバン
5月12日（火）～15日（金）
- 愛知食農健総会
5月17日（日）14:00～
労働会館本館
- 第35回東海自治体学校
5月24日（日）10:00～
愛知県勤労会館(つるまいプラザ)



中部共同印刷労組は時間スト中に、職場の周りをデモした。

全印総連

サービス向上につながる職場を

愛知県医労連 名古屋公衆医学研究所労組結成



3月31日、10人が参加した結成大会

3月31日、組合結成準備会を重ねてきた「財団法人名古屋公衆医学研究所」で労働組合が結成され、愛知県医労連と、中部地域労働組合センターに加盟しました。

集団検診事業等が主で昭和36年（1961）か

らの歴史ある事業所です。

労組結成にいたった理由は、給与規定が不十分で職員により賃金が違うことや嘱託・パートの処遇改善、経営状況が悪化してきており雇用不安があること等です。

このような中で、職員の賃金や労働条件改善はもちろん、事業利用者のサービス向上につながる職場づくりに力を合わせようと、労働組合の立ち上げを準備してきました。

結成大会当日には、労組員のうち10人が参加。愛知県医労連から稲葉副委員長、原書記長、西尾書記次長、中村地域労連から北野議長が参加しました。

健全な事業・経営活動の発展に寄与を

4月1日、理事会に申し入れを行い、「検診事業も年々経営状況が厳しくなってきた。しっかりと協力し合える労働組合であって欲しい」と要求は受け止めた。一歩ずつ改善に努力したい」と、組合結成にいたった職員の思いと、活動の趣旨を受け止めてもらいました。

組合と愛知県医労連からは、「いそぎ多数が参加する組合にして、しっかりと話し合いができるよう努力したい」と表明し、回答を要請しました。

（医労連発）